

氏名	廣渡 祐史	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	生化学、分析化学、動脈硬化学、臨床化学				
学位	工学博士				
学歴	1986年早稲田大学理工学部 応用化学科卒業、1996年早稲田大学 工学博士取得				
経歴	1986年4月S61 東洋曹達工業株式会社 入社 1986年東洋曹達工業株式会社 入社(東ソー株式会社 社名変更)、1992年4月H4 株式会社創薬技術研究所 出向、1992年国立がんセンター研究所(研究員)、1994年東ソー株式会社 復帰、2015年公立大学法人 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 准教授				
所属学会(役職)	日本臨床化学会 評議員 リポ蛋白専門委員会委員、日本動脈硬化学会 評議員				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	Serotonin in peripheral blood reflects oxidative stress and plays a crucial role in atherosclerosis: Novel insights toward holistic anti-atherothrombotic strategy.	原著	Atherosclerosis. 2016 Jan 11;246:157-160.	Sugiura T, Dohi Y, Yamashita S, <u>Hirowatari Y</u> , Fujii S, Ohte N.	
2	Understanding of Diabetic Dyslipidemia by Using the Anion-Exchange High Performance Liquid Chromatography Data.	原著	J Clin Med Res. 2016;8(5):424-426.	Yanai H*, Hirowatari Y, Ito K, Kurosawa H, Tada N, Yoshida H,	
3	Regulation of the lysophosphatidylserine and sphingosine 1-phosphate levels in autologous whole blood by the pre-storage leukocyte reduction.	原著	Transfus Med. 2016 Jun 2	Nagura Y, Tsuno NH, Kano K, Inoue A, Aoki J, Hirowatari Y, Kaneko M, Kurano M, Matsuhashi M, Ohkawa R, Tozuka M, Yatomi Y, Okazaki H.	
4	Plasma concentration of serotonin is a novel biomarker for coronary microvascular dysfunction in patients with suspected angina and unobstructive coronary arteries.	原著	Eur Heart J. 2016 Oct 2. pii: ehw448.	Odaka Y, Takahashi J, Tsuburaya R, Nishimiya K, Hao K, Matsumoto Y, Ito K, Sakata Y, Miyata S, Manita D, Hirowatari Y, Shimokawa H.	
5	Effect of dietary modification by calorie restriction on cholesterol levels in lipoprotein(a) and other lipoprotein classes.	原著	Ann Clin Biochem. 2016 Sep 16. pii: 0004563216672247.	Hirowatari Y, Manita D, Kamachi K, Tanaka A.	
6	Cholesterol Levels of Six Fractionated Serum Lipoproteins and its Relevance to Coronary Heart Disease Risk Scores.	原著	J Atheroscler Thromb. 2016 Dec 26. doi: 10.5551/jat.34728.	Manita D, Yoshida H, Hirowatari Y.	
(3) 学会発表					
1	Effects of pre- vs. postprandial aerobic exercise on postprandial lipidemia induced by the ingestion of fructose with fat in healthy young women.		第48回日本動脈硬化学会総会学術集会	OC Iijima, E Ikeda, H Saito, A Yoshida, D Manita, Y Hirowatari, M Naito.	2016/7/14

2	脂質異常症患者のリポ蛋白中ビタミンEの評価.		第48回日本動脈硬化学会総会学術集会	○廣渡祐史、真仁田大輔、吉田博.	2016/7/14
3	ココナッツオイルの単回摂取における血中ケトン体生成の刑事変化 - 層別無作為化単盲検比較交差試験 -.		第25回大会 日本脂質栄養学会	○古田有花、真仁田大輔、廣渡祐史、田中明、川端輝江.	2016/9/16
4	糖尿病患者のリポ蛋白中ビタミンEの評価.		第3回神奈川脂質・動脈硬化研究会学術集会 (第35回神奈川脂質研究会学術集会)	○廣渡祐史、真仁田大輔、柳内秀勝、田中明.	2016/10/22
5	健常男性を対象としたリポ蛋白プロファイルと腎機能ならびにSuita Scoreの比較検討.		第56回日本臨床化学会年次学術集会	○真仁田大輔、廣渡祐史、吉田博.	2016/12/4
6	脂質異常症患者と糖尿病患者におけるリポ蛋白中ビタミンE濃度の評価.		第28回ビタミンE研究会	○廣渡祐史、真仁田大輔、吉田博.	2017/1/20
7	リポ蛋白中α トコフェロールの定量法の構築と健常者の血清濃度の評価.		日本化学会第97春季年会	近田朱里、高田梨恵、加藤幹人、○廣渡祐史.	2017/3/16
8	Plasma Levels of Serotonin as a Novel Biomarker for Co-presence of Coronary Microvascular Dysfunction in Patient with Vasospastic Angina.		The 81th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	○Y Odaka, J Takahashi, A Suda, M Komatsu, K Nishimiya, K Hao, R Tsuburaya, Y Matsumoto, K Ito, Y Hirowatari, H Shimokawa.	2017/3/17
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	該当なし				
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	生物化学分析学	2016.4-10	勉学・自己学習などの生きる力について、授業に取り入れた。学力の差があるので、難易度については低いものから高いものまで取り入れた。		
2	生体情報評価額	2016.7	興味を引き起こすことを目的に動脈硬化・メタボリックシンドロームに関する世の中の状況・問題点について説明・議論した。		
3	検査機器総論	2016.9-2017.3	授業内容について当日確認テストおよび自己採点を行い、知識の定着を図った。		
4	病態生化学	2016.4-10	授業内容について当日確認テストおよび自己採点を行い、知識の定着を図った。5人の非常勤講師を呼び、各学生の興味を引き起こすようにした。		
(2) 演習					
1	特別演習	2016.4-10	医学の最新の話題について取り上げ勉学し、その内容について学生間で議論した。		
2					
3					
(3) 実習					
1	生物化学分析学実習	2016.9-2017.3	各学生の個性を尊重しながらレポートを添削し、自分らしいレポートが書けるようになることを目標に指導した。		
2					
3					

(4) 論文指導			
1	該当なし		
2			
3			
(5) その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
2			
3			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	該当なし		
2			
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	リポ蛋白中のビタミンE類を指標とする糖尿病の判定方法.	特許5880609	2016/2/24
2	リポタンパク中のコレステロールおよびビタミンE類の測定方法、ならびに当該方法を利用した測定装置.	特許5866944	2016/2/24
8. 特記事項			
	該当なし		